

伊藤ひろし県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

県立高校教育改革

拠点校4校の取組支援

習志野市選出の伊藤寛県議は2月定例県議会予算委員会にて、県立高校改革や県産水産物の輸出、水素活用モデル構築、県営水道の非常用自家発電設備などについて、県の担当者に質問しました。温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させ、実質的な排出量をゼロにするカーボンニュートラルの実現に力を入れている伊藤県議は、炭酸ガスを排出しない水素の成田空港周辺地域における活用について尋ね、しっかりと活用を検討するよう要望しました。

2月県議会予算委員会



県立高校の教育改革について質問する伊藤寛県議

伊藤委員 国により、2040年を見据えた新たな高等学校教育の在り方を示す「高校教育改革に関する基本方針・ブランドデザイン」が公表される中、我が党の代表質問でも県教育委員会による県立高校改革の取り組みを質問した。

執行部からは、高校教育改革のための基金なども活用して、取り組んでいくとの答弁があり、また、今議

会には、その基金造成のための条例制定と補正予算として、基金への積み立てが議案として上程されている。そこだろうか、基金への積立金により、どのような取組を行うのか。

企画管理部副参事 国は、ブランドデザインに沿った高校改革の実現に向けた、新たな財政支援の仕組みの構築に先立ち、まずは、拠点校における先導的な取組を、

県が設置した基金を通して支援するとしています。2月補正予算に計上した基金への積立金は、この取組の準備のため交付されるもので、具体的には、高校教育改革を実現するための体制構築等に係る経費として、有識者からの意見聴取や地域連携を推進するコーディネーターに要する費用などに充てることを検討しています。

伊藤委員 今後、鮮魚を

拠点校、改革を先導

伊藤委員 拠点校の選定はどのように進めていくのか。教育長 県立高校改革を先導する拠点校は「専門高校の機能強化・高度化」、「普通科改革を通じた特色化・魅力化」、「地理的アクセス・多様な学びの確保」の3つの類型において創出することとされており、各都道府県は最大4校を申請し、国

の審査を経て決定されます。候補となる学校については、国が示す考え方を踏まえ、具体的な取組内容や他校への普及の効果などを考慮し、選定を進めてまいります。

要望

伊藤委員 今回の国の財政支援措置を確実に活用し、企業・大学との連携、学びの充実、教師の資質能力向上、外部講師の活用など、教育内容の抜本的改革とそれを可能にする環境整備が一体的に行われる先導拠点校を創設するとともに効果的な取組により他校への普及を図って

県産水産物輸出促進へ台湾でフェア開催

伊藤委員 県産水産物の輸出についていかが。台湾における鮮魚のプロモーションにどのように取り組んでいるのか。

販売輸出戦略課長 1月に知事と現地経済関係者などがメディア向けに、新鮮な千葉のキンメダイの魅力を紹介しました。

さらに、2月には台北市内の高級飲食店4店舗でキンメダイフェアを開催するとともに、日本台湾交流協会が主催する天皇誕生日祝賀レセプションにおいて、各界の要人にキンメダイを刺身で提供するなど、その美味しさをPRしたところ

です。

伊藤委員 今後、鮮魚を

まいります。

●県政や習志野市のまちづくりに関するご相談はお気軽にどうぞ

伊藤ひろし 県議事務所

〒275-0021 習志野市袖ヶ浦2-4-1-102 TEL.047(454)8358

ただき、強い経済や地域基盤を支える人材育成を進めるよう要望する。

伊藤ひろし県議プロフィール

略歴

- 1975年 富山県に生まれる
- 1994年 東海大学付属望洋高校卒
- 1998年 東海大学政治経済学部卒
- 2004年 松下政経塾の地域政経塾卒
- 2007年 習志野市議会議員当選(3期)
- 2019年 千葉県議会議員当選(2期)

現職

- 県議会 文教常任委員会委員長
- 予算委員会委員

資格

- 中学・高校教員免許、防災士

水素でカーボンニュートラル

成田空港周辺地域で利活用を

伊藤委員 水素は燃焼時にCO2を排出しないことから、カーボンニュートラルの実現に向けてカギとなるエネルギーとして位置づけられている。

京葉臨海コンビナートにおいては、官民協議会で水素の共同利活用の検討を行っているが、成田空港周辺地域での水素利活用の取り組みが大変気になる。

そこで、来年度、成田空港周辺における水素

利活用をどのように進めていくのか。

カーボンニュートラル推進課長 成田空港周辺地域はモビリティ分野でまとまった水素需要が見込まれることから、来年度は、今年度実施している水素需給調査の結果等を踏まえ、水素利活用モデルの実証事業に向けた体制の構築や実証内容の検討を行うこととしております。

再質問

伊藤委員 来年度は、水素利

活用モデルの実証事業に向けて検討を行うということだが、どのような検討を想定しているのかお伺いさせていただきます。

カーボンニュートラル推進課長 需要側と供給側の双方における検討をさらに進めるため、現段階では、燃料電池を搭載するトラックやバスの導入及び大規模な水素ステーションの設置に係る採算性などを想定しております。

要望

成田空港周辺地域

幕張給水場の停電対策

伊藤委員 幕張給水場における非常用自家発電設備の整備状況はどうか。
浄水課長 沼南給水場については、自家発電機などの製作が完了し、現在、燃料タンクの製作や、これらの設置に向けた現地工事などを進めているところであり、令和8年度末に非常用自家発電設備の増強が完了する見込みです。

「自家発電」設置急げ

幕張給水場については、非常用自家発電設備を設置する建物の建築工事の入札不調などにより、進捗が遅れが生じています。令和10年度の増強完了を目指し、整備を進めてまいります。

要望

伊藤委員 非常用自家発電設備の整備は停電対策として非常に重要であることから、幕張給水場においては入札不調があることは承知しておりますが、着実に整備を進め、できるだけ早く完成するよう要望します。

において、水素の利活用が図られるよう、しっかりとした検討を行うよう要望いたします。

都市計画道路東習志野実籾線

4車線の立体交差 暫定2車線で供用

伊藤委員 都市計画道路東習志野実籾線の進捗状況はどうか。

道路整備課長 東習志野実籾線は、京成本線との踏切による渋滞の解消を図るため、約0.6キロメートルで4車線の立体交差事業を進めており、これまでに暫定2車線で供用しています。

現在、鉄道交差部において、施工機械や資機材の搬出入などに必要となる立坑の設置や函渠の上面部の工事を進めているところです。

伊藤委員 都市計画道路東習志野実籾線の令和8年度の整備予定はどうか。

道路整備課長 令和8年度については、京成電鉄と連携しながら、引き続き、鉄道交差部において函渠の



県担当者の答弁を聞く伊藤県議

要望

伊藤委員 一日も早い4車線化の完成に向けて事業を推進するよう要望する。

水位計と監視カメラ

谷津川に今年度設置

伊藤委員 谷津川における危機管理型水位計及び河川監視カメラの設置予定はどうか。

河川環境課長 谷津川においては、令和8年度に危機管理型水位計及び河川監視

県道長沼船橋線

習志野市実籾2丁目 1300歩道を整備

伊藤委員 県道長沼船橋線習志野市実籾2丁目地先における歩道整備の進捗状況はどうか。

道路環境課長 当該路線については、京成本線と交差する大久保第5号踏切の前後、1300メートル区間

で歩道整備を進めています。

これまでに、船橋側の75メートル区間について歩道整備が完了し、今年度から、残る千葉側の55メートル区間について歩道整備を実施しているところです。

要望

伊藤委員 県道長沼船橋線の習志野市実籾2丁目地先における歩道整備については、早期の安全対策完了に取り組むよう要望する。

引き続き、地元の皆様のご理解と御協力をいただきながら、令和8年度内の事業の完成に向けて、工事を進めてまいります。

また、オーストラリアについては、訪日観光客とゴルフ人口の両方が増加し、自然やアクティビティなどの体験型観光に関心が高いという旅行動向を踏まえ、豊かな自然や温泉・食文化を楽しめる本県と親和性が高いと考え、ターゲットとしました。

韓国、台湾、オーストラリアから誘客

ゴルフリズム

伊藤委員 県は、新たに「ゴルフリズム」として、海外からのゴルフ客誘致に取り組むとされている。

そこで、いかがが、ゴルフリズムの推進に取り組み上で、ターゲットをどう考えているのか。

観光政策課長 ターゲットについては、現地の事業者等へのヒアリングを踏まえ、まずは韓国、台湾、オーストラリアとして考えています。

具体的理由は、韓国・台湾については、管理が徹底され、四季折々の景観を楽しむことができる日本のゴルフ場でプレーをする方が近年増加しているため、ターゲットとしました。